

担当課 御中

2022年9月●日

保育・学童保育・子育て支援の充実を求める

秋の大運動大阪実行委員会

実行委員長 松林 高志

連絡先)大阪保育運動連絡会

大阪府中央区谷町7丁目2-2-202

担当)柴田・芳村

保育所・学童保育についての懇談のお願い

貴市(町村)におかれましては、子ども関連施策の充実に日々ご努力されておられることに敬意を表します。

今年7月以降の第5波となる新型コロナウイルス感染拡大危機においては、感染力の強いデルタ株の影響から保育現場でも感染が拡大し、過去最多の臨時休園になるなど保育現場では保育者も保護者も不安を抱えながらの保育が続けられていると思います。(青=去年ママ→修正必要)

保育・学童保育は社会を維持するためには、どんな時でも開設が求められる役割とその必要が明らかになり、担当者のみなさまにおかれましても、その対応に追われ大変な状況であることと思います。

大変お忙しいかと思いますが、別紙記載の内容につきまして、懇談と意見交換の時間をとっていただきますよう、よろしくお願い致します。

※z o o mでの懇談も可能です。ご希望があれば、その旨お伝え下されば、準備させていただきます。

また、コロナ禍で課題も多くなっております。限られた時間の懇談がいっそう有意義なものとなりますよう、可能な項目につきましては事前に書面での回答を FAX またはメールにていただけましたら幸いです。

懇談希望日程 月 日() : ~ :

日程についてのご返答は、申し訳ありませんが10月●日までに、担当(柴田・芳村)まで、電話もしくはメール(下記アドレス)でお願い致します。

office@gakudou-osaka.net

電話 06-6763-4381

F a x 06-6763-3593

2022 年度自治体キャラバン【懇談内容】（案）

（保育）

- ① 就学前施設の通園バス実施状況と安全対策について
- ② 実地監査の実施状況について
- ③ 現在のコロナ対策と各施設への対応
- ④ 物価高騰に対する対応について
- ⑤ ICT化の導入について現在の状況と今後の対応について
- ⑥ こども家庭庁創設に伴い、現在の子ども・子育て支援計画はどのようになるのが？
- ⑦ 子ども家庭庁創設で貴市において何か変更がありますか？

〈学童保育〉：2022 案。

1. コロナ禍での対策・対応と、学童保育での課題
 - ・ コロナ禍 3 年目となる中で見えてきている学童保育の課題・困難さ・脆弱性
 - ・ 2 年半を通じて蓄積されてきた対応策や指針・考え方、また冬にむけた対策について
 - ・ 休所する場合の基準・考え方、配慮事項（例：保育が必要な家庭への保障）
 - ・ 感染が急増した今年の夏休みの実施状況と指導員の体制状況
2. 指導員の確保・継続、体制強化、資質向上について
 - ・ 指導員不足の状況と対策、処遇改善・常勤配置に関する考え方、臨時特例事業の活用状況
 - ・ 認定資格研修に関する要望
3. 予算活用について
 - ・ 放課後児童クラブ育成支援体制強化事業
 - ・ 放課後児童クラブ第三者評価受審推進事業
 - ・ ICT化推進事業
4. 民間委託・指定管理者制度、民間活用に関する状況、考え方
5. 子ども、保護者、指導員から寄せられている声・要望

■保育・学童共通：国や大阪府に対しての要望